

## 11 教員組織

### 進捗状況報告

#### 【11.0.1 教員組織】

学部コース制における卒業生を輩出する2008年度に、前期課程にもコース制を導入し、同時に研究分野も、聖書分野、歴史・文化分野、組織・思想分野、実践分野の4つに再編した。前期課程の指導教員として新たに2名（組織・思想分野、実践分野）が任用されたことにより、4分野すべてにおける指導体制が整っている。また後期課程では、新たに3名（旧約聖書学、新約聖書学、歴史神学）が指導教員として任用された。

### 学内第三者評価

認証評価で指摘された、年齢構成のアンバランス、男女比、本学出身者の割合について改善が進んでいると認められる（大学基礎データ表21、基本的な指標データ110141より、神学部共通）。

大学院の教員層を厚くする試みは着実に進んでいる。例えば、大学他学部の教員や教会関係者を大学院指導教員として登用するなど、より一層の努力が望ましい。

なお、学外委員からは以下の意見があった。

教員組織の量的な充実がみられ、その点は評価できる。それに加えて、教育研究体制の充実（TAの役割の明確化、副指導教員制度の導入など）による成果が期待される。